

# すみれ共同作業所 ニュース

第78号  
2018年7月1日

社会福祉法人  
大阪福祉事業財団  
すみれ共同作業所  
所長 松村 秀明  
〒536-0001  
大阪府城東区古市一丁目三八  
電話(〇六)六九三四-四六〇七

### 事業内容

- ◆生活介護事業  
なかまの働く店  
「フレンドワーク」  
「うえるカフェ」
- ◆共同生活援助事業  
グループホーム  
「かえの家」  
「わくわくホーム」  
「ぼぶら」「いぶき」「もえぎ」
- ◆日中一時支援事業
- ◆居宅介護・重度訪問  
介護事業
- ◆移動支援事業
- ◆指定特定相談支援事業

## 創設40年を迎え、 あらたな思いで 歴史を繋いでいきます

すみれ共同作業所 施設長 松村 秀明

1978年4月1日、すみれ  
共同作業所が産声をあげて、40  
年を迎えることになりました。そ  
の歴史を引き継ぎ、次の世代に  
繋いでいかなくはなりません。  
いまその40周年記念行事の開催  
準備をすすめているところです。

すみれ共同作業所は、大阪市  
内で認可された最初の作業所と  
して、この40年間おもに知的障  
害のある人たちの生活と人権を  
守る事業と運動に携わってきま  
した。支援学校を卒業したあと、  
行き場のなかった重度の障害者  
が「働こう障害者も、働けるんだ  
わたしたちも」を合言葉に作業  
所の歴史をつくってきました。

障害があってもみんなが集い、  
働くことで生きる意欲と力と希  
望を見出し、そのことが家族、関  
係者に将来に向かう夢を膨らま  
せ、新しい時代に向けた運動をつ  
くりだす大きな活力につながっ

ていきました。

そういう時代をへて、2006年  
の「自立支援法」の成立をきつ  
けに障害者制度も大きく変化  
することになりました。作業所の  
支援内容にも、作業だけでなく  
クラブ活動や外出レクリエーシ  
ョン活動、日常生活の支援等のと  
り組みが多く組み入れられるよ  
うなっています。

また、作業所が歴史を重ねる  
につれ、親としてなかま自身の高  
齢化もすすみ、なかまの生活の  
場をどうするかが問題になっ  
てきています。どこの作業所も生  
活の場としてのグループホーム開  
設が避けて通ることのできない  
課題となってきました。

すみれ共同作業所もこの間、  
5つのホームを順次開所してきま  
した。そして今年8月には古民  
家を借りて運営していたホームの  
ひとつを設備の整った新築ホーム

に移転し、それに合わせて1名で  
すが利用定員を増やします。

時代とともに変化していく制  
度にどう対応していくか、そして  
何より障害のある当事者とその  
家族の願いや暮らしをどう支  
えていくか、作業所が果たすべき役  
割を40年を迎えるにあたってあ  
らためて考えさせられます。今  
後ともどうぞよろしくお願い致  
します。



▲鶴見区に建つ新しいグループホーム

### 季香

梅雨真つ盛り、みなさん  
どうお過ごしですか。梅雨が  
あければ、気持ちのいい青い  
空、おいしい夏野菜、ガリガリ  
くん、キンキンに冷えたビール  
に高校野球。そう、夏がやっ  
てきます。大好きな夏。休  
みの日はゆつくりビールでも飲  
みながら、高校野球観戦、と  
は夢のまた夢です▼さて高  
校野球が100回の記念大  
会を迎える今年、このすみ  
れ共同作業所も40周年を  
迎えました。私が今年で41歳。  
生まれて間もない赤ん坊の  
頃、この地ですみれ共同作  
業所が30名の利用者からス  
タートしました▼「僕たち、  
私たちが仕事をしたんだ」  
という障害を持つ子どもた  
ちの強い思いや保護者のみ  
なさんの願いをねばりづよ  
く交渉した成果が実を結ん  
だと聞いています▼これから  
も10年、20年とこの地域の  
なかで、見守られ、愛される  
作業所をみんなで築いてい  
きます。

(上伸 正憲)

**C**グループ  
動物がいっぱい!  
姫路セントラルパークに行ってきました。



5月29、30日に、なかま8名と職員3名の合計11名で行ってきました。1日目は晴天の中、姫路セントラルパークに行きました。お楽しみは、マイクロバスのまま入れるサファリパークで、チーターやライオン、カバ、アフリカゾウなどたくさん動物を見ました。なかまからも「わあ、すごい!」と、歓声が上がりました。昼食はレストランで、みんなの好物のどんかつカレーやラーメンを食べました。それぞれが気に入ったおみやげも買い、大満足で宿泊場所のしあわせの村に向かいました。しあわせの村では、のんびりゆつくりと過ごし、明日に備え

て早めに休みました。2日目は、アサヒ飲料明石工場に行きました。コーヒー缶の大きい機械にみんなびっくり!ビデオを観た後、工場内を見学しコーヒー豆やハト麦を見て触って楽しみました。最後におみやげももらい、みんな大喜びでした。2日目は雨で少し残念でしたが、みんな元気いっぱい2日間を楽しむことができました。(山中類)

**郊外**  
レクレーションに  
行ってきました!!

**B**グループ  
六甲満喫!美味しいがいっぱい!

5月16、17日に行ってきました。1日目は六甲オルゴールミュージアム、六甲牧場。2日目、宝塚北サービスエリア、明治なるほどラクトリーと盛りだくさんのBグループでした。オルゴールミュージアムでは、時間ごとにそれぞれのテーマに合った曲を聴かせてくれるコンサートがありました。からくりオルゴールやいろんな楽器の音を奏でるオルゴールの演奏など、みんなの心を癒し優しい気持ちにさせてくれました。六甲牧場のアイスクリーム作り体験では、牛乳・砂糖・スキムミルクなどをぐるぐる混ぜるとだんだん固くなって、あつという間にアイスクリームの出来上がり。初めての体験で、驚きと共に楽しみながら作ったアイスクリーム、美味しかったですね。2日目の明治なるほどラクトリー。工場の中に入ると、もうチョコの美味しい香りで、「きのこの山」の工程を見学しました。出来たてのきのこの山を試食させてもらい「おいし〜い」の声。カールときのこの山をお土産に頂き、大満足でした。



音楽と動物たち、そして美味しい物に満たされた素敵な2日間でした。(作田まゆみ)



5月11日、城東区自立支援協議会取り組みの街頭募金に行ってきました。熊本地震で被災された障害者支援が目的でした。担当者の方から、その説明を聞いた島田さん、富本さんは、「分かった!」と納得し「いっぱい集めよう!」といざ街頭へ出ました。さて、募金箱を抱え街頭へ立つてみたものの、「ぼきんおねがいしま〜す」とまあ、蚊の鳴く様な声です。「そんな小さい声じゃ、募金してくれへんでえ〜」と励ましました。気を取り直して「せえの〜で」「募金お願いします!」と大きな声で呼びかけました。その甲斐あってか、募金をして下さる方が増えました。募金をして下さる方の善意に「ありがとうございます!」と心からお礼を言いました。わずか1時間の募金活動でしたが、2人とも「やったな!」と充実した顔を見せていました。(青木邦仁)

**募金!**  
おねがいしまあ〜す!



『3B体操、みんなで発表して楽しかったよ!!』  
6月14日、日本3B体操協会大阪府大会が大阪市中央体育館で開催され、なかま12名が参加しました。3B体操とは、ボール、ベル、ベルトといった用具を使用し、誰でも楽しめるように考案された健康体操で、作業所ではなにかまのご家族の指導の下、取り組んで20年になります。この日発表したのは、「友よ〜この先もずっと」という曲に合わせたベルを使った体操で、3ヶ月前から練習してきました。最初は会場の広さに戸惑ったなかま達も、曲がかかると思いはじけるような笑顔になり、自然に身体が動いていました。「緊張したけど、楽しかった」「たくさんの人に見てもらって、うれしかった」と、満足感いっぱいなかま達でした。(杉本由美子)

# きょうされん大阪支部第41回定期総会開催

5月12日(土)大阪市立港区民センターにて、第41回きょうされん大阪支部総会が行われました。

この一年間、全国各地で、就労A事業所で働くひとたちが急に解雇されたことや、障害者の強制不妊手術、精神障害者の拘束問題などの報道がありました。障害者が不当な扱いをうけ、権利が保障されていない実態に対し、社会全体の問題としてとらえられるよう、これまで以上に運動していくための活発な議論が行われました。

また、戦争と核兵器のない世界を願って、憲法を守りぬくこと、軍事費を削って社会保障費を充実させることなど、障害者だけでなく、貧困や病気で困っている人を支え、国民全体が安心して暮らせる仕組みづくりのため奮闘していくことを確認しました。

第41次国会請願署名は、おかげさまで作業所だけで1388筆を集めることができました。全国では100万筆以上の署名が集まり、5月24日の国会請願行動では400人以上の関係者が集まって、国会議員を訪問し実態を訴えてきました。また、募金にもご協力いただき誠にありがとうございました。来年もよろしくお祈りします。  
(藤原民人)



## 法人後援会入会・継続のお願い

### ●大阪福祉事業財団後援会●

年会費 / 個人 3,000円 団体 10,000円  
郵便振込 / 大阪 00900-3-14013

#### お申し込みは

すみれ共同作業所 又は  
大阪福祉事業財団後援会事務局 まで  
☎06-6931-2983

## 今年で創立40周年を迎えた作業所の歩みを振り返ります。

(今回は、1978年創立から1997年の20年間です)

### 1978年 4月

当事者、家族、関係者の願いがかない、大阪市内で最初の認可施設として定員30名で開所しました。

### 1984年 1月

建物を増設し、定員を60名に増員しました。

### 1988年 6月

城東区民ホールで10周年のつどい「すばらしい明日のために」を開催。はしだのりひこさんのコンサートに、大盛り上がりでした。

### 1997年 4月

家族の要望に応じて「レスパイト事業」を開始しました。



## 創立40周年記念のつどい『スギテツコンサート』のお知らせ

すみれ共同作業所40周年記念事業  
未来をひらこう、夢をかたちに

第1部 創立40周年 記念の つどい

第2部 スギテツ コンサート

スギテツって？  
誰もが知っているクラシックの名曲をさまざまな音楽や環境音とマッシュアップ(融合)させ、聴いても疲れても楽しいコンサート活動を続けるピアノ/杉浦哲郎とバイオリン岡田鉄平デュオ。「聴かない音楽会」など音楽番組にも多数出演。2014年リリースした「流れ！夢の超特急楽団」が「聞く！日本レコード大賞 企画賞」を受賞。「クラシックで笑顔を創る」をモットーに全国で年間100本を超えるステージを展開しています。

日時 2018年 7/12(木) 13時開演(12時30分開場)

会場 城東区民センター  
〒536-0005 大阪市城東区中津3-5-45(城東区総合施設)

入場料 一般(大人) 2000円  
小学生・障害者手帳お持ちの方 1000円

会場へのアクセス

主催 すみれ共同作業所40周年記念事業委員会  
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目21-38 ☎06(6934)4607

地下鉄 長堀鶴見野線・今里駅 徒歩約5分  
京阪電車 野江駅 徒歩約8分

寄付・寄贈  
2018年3月〜2018年6月  
松岡様にジュースケーキをいただきました。  
ありがとうございました。



「福祉のひろば」の発行  
ご購入を希望される方は、すみれ共同作業所までご連絡をお願いいたします。